

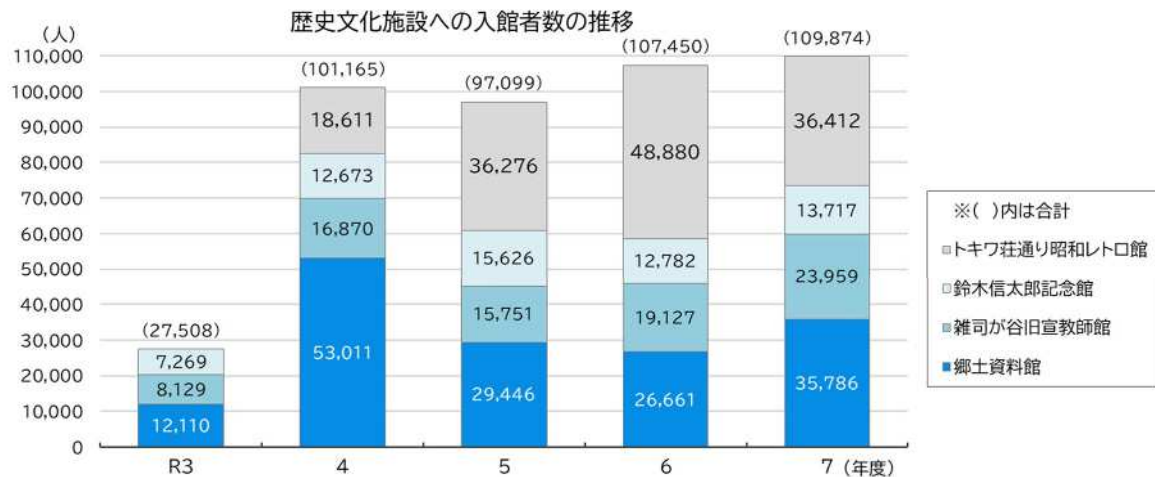
4. 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち

1. 地域文化・伝統文化の継承と発展

1. 歴史文化施設への入館者数

郷土資料館他2館の、来館者数増の主な要因としては、戦後80周年収蔵資料展及び生誕110周年鈴木新夫展が好評で、来館者が増加したこと、また雑司が谷旧宣教師館では2つの新規イベント企画の実施による効果が考えられる。

昭和レトロ館の来館者数減の要因としては、令和6年度に実施したトキワ荘との連動企画展示が終了し、単独企画になったためと考えられる。



※ 令和3年9月27日～令和4年1月31日、郷土資料館は倉庫資料移転のため休館

出典：文化事業課作成資料

基本計画(2025-2029)の施策の効果を表す代表的な指標	現状値(2025年度)	目標値(2029年度)
郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館・トキワ荘通り昭和レトロ館の来館者数【人】	109,874	134,000

2. 文化芸術への参加・創造の機会の創出

1. 区立劇場、ホールの年間来場者数の推移

【区立劇場】豊島区立芸術文化劇場は公演回数および公演内容により平均入場者数が増えたため令和6年度より増となった。豊島区立舞台芸術交流センターは利用件数及び公演数は減ったものの、公演内容により入場者数は増となった。

【ホール】利用件数の増、利用目的や用途による利用者数の増。



※区立劇場は豊島区立舞台芸術交流センター及び豊島区立芸術文化劇場、ホールはとしま区民センター多目的ホール及び小ホールの総利用者数

出典：各指定管理者事業報告書及び聞き取り調査

基本計画(2025-2029)の施策の効果を表す代表的な指標	現状値(2025年度)	目標値(2029年度)
区立劇場、ホールの年間来場者数【万人】	45.2	50.9

2. 豊島区の文化政策

事業名〔主催者〕	事業の概要および開催状況																		
次世代育成事業 〔公益財団法人 としま未来文化財団〕	次世代を担う幅広い年代を対象に行っているワークショップ。音楽や演劇などさまざまな芸術に出会い、体験し、様々な自己表現の方法を学び創造活動を行うことを通じて、豊かな感性を培い、次代の文化を担う人材の育成を行っている。 令和7年度は、乳幼児とその保護者を対象に、アートによるコミュニケーションを目的とした「0.1.2.のおもちゃ箱」を、春・夏（全5回の継続シリーズ）、秋（おどりのワークショップとパイプシアター）を実施。 夏休み時期には、木工での工作ワークショップと普段から親しみのある鍵盤ハーモニカを使用したワークショップに加え、新しくも懐かしいインストゥルメンタルバンド「ザツハトルテ」による音楽会を実施した。音楽会は、木下ようすけによるイラストをビジョン放映し、視覚的にも楽しめる工夫を行った。クリスマスには、パントマイム公演「走れ！走れ！！走れ！！！」と、関連パントマイムワークショップ、児童発達支援事業所でのアウトリーチ事業を展開した。 また、夏休みに文化芸術体験を届ける事業として、音楽ワークショップ・アーティスト「おとみつく」による、「みて！きて！さんかするコンサート！おとみつくと音の旅」を、子どもスキップ4施設において実施した。 恒例となっている子ども日本舞踊教室では、各10名の2チームが伝統芸能を学んだ。 ◎参加人数 <table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>1,130人</td><td>1,555人</td><td>2,313人</td><td>2,526人</td><td>1,186人</td></tr></table>	R3	R4	R5	R6	R7	1,130人	1,555人	2,313人	2,526人	1,186人								
R3	R4	R5	R6	R7															
1,130人	1,555人	2,313人	2,526人	1,186人															
としま能の会 〔公益財団法人 としま未来文化財団〕	豊島区に縁のある能楽師、狂言師によって演じられる日本の代表的な古典芸能を区民の方に親しんでもらい、理解を深め、次の世代に伝えていくことを目的に開催。 令和7年度は、小学校で狂言の出張公演をおこなうアウトリーチ事業と、市民に向けた講座の2軸で実施。小学校アウトリーチ事業では、狂言ならではの面白さを小学6年生を中心に6校で実施。講座は初級編と発展編の2講座を実施。初級編は、豊島区からもっとも近い能楽堂である「矢来能楽堂」で実施した。 ◎参加人数 (入場者数) <table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>336人</td><td>844人</td><td>599人</td><td>490人</td><td>763人</td></tr></table>	R3	R4	R5	R6	R7	336人	844人	599人	490人	763人								
R3	R4	R5	R6	R7															
336人	844人	599人	490人	763人															
民俗芸能inとしま 〔公益財団法人 としま未来文化財団〕	後継者難などから存続の危機にあった区の民俗芸能の継承と紹介を目的に、平成元年から毎年開催。豊島区に伝承される「富士元囃子」「長崎獅子舞」「雑司ヶ谷鬼子母神お会式万道練供養」(いずれも区指定無形民俗文化財)のほか近隣地域や姉妹都市、友好・交流都市に伝わる民俗芸能も上演。 令和7年度は、西口公演グローバルリングで開催。区内の民俗芸能3団体と秩父の屋台囃子、佐渡の鬼太鼓に加え、鳥取から因幡麒麟獅子舞と、東京の二子流東京鬼剣舞が出演した。音楽ライブでは、津軽三味線・民謡歌手の川嶋志乃舞とCHiLi GiRL(川嶋志乃舞プロジェクト)が出演し、公演に彩を添えた。また、関連事業として、御会式ワークショップを開催した。事前に、レクチャーとワークショップを受け、御会式本番にも参加するもので、参加者から好評を得た。 ◎参加人数 (入場者数) <table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>110人</td><td>1,216人</td><td>3,024人</td><td>2,016人</td><td>551人</td></tr></table>	R3	R4	R5	R6	R7	110人	1,216人	3,024人	2,016人	551人								
R3	R4	R5	R6	R7															
110人	1,216人	3,024人	2,016人	551人															
豊島区管弦楽団・吹奏楽団演奏会 〔公益財団法人 としま未来文化財団〕	区設置による豊島区管弦楽団・吹奏楽団の演奏会として、幅広い年齢層の区民を対象に、気軽に演奏を楽しんでいただく公演を目指し毎年開催。文化芸術に対する理解と創造意欲を促進し、文化を通じた相互の交流を図る。 令和7年度は、令和8年1月10日(土)に東京芸術劇場コンサートホールで豊島区吹奏楽団によるニューイヤーコンサート2026を実施。令和8年1月31日には文京シビックホールにて豊島区管弦楽団演奏会2026～冬から春へ～を実施した。 ◎参加人数 (入場者数) <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>管弦</td><td>413人</td><td>929人</td><td>842人</td><td>1,664人</td><td>861人</td></tr><tr><td>吹奏</td><td>279人</td><td>725人</td><td>741人</td><td>892人</td><td>1,004人</td></tr></table>		R3	R4	R5	R6	R7	管弦	413人	929人	842人	1,664人	861人	吹奏	279人	725人	741人	892人	1,004人
	R3	R4	R5	R6	R7														
管弦	413人	929人	842人	1,664人	861人														
吹奏	279人	725人	741人	892人	1,004人														
としま文化の日 都響スペシャル コンサート 〔豊島区〕	「文化によるまちづくり」を次世代に伝えることを目指し、「Hareza池袋」の開業を記念して、11月1日を「としま文化の日」と定める「としま文化の日条例」を制定した。この条例に基づき、豊島区の文化を未来へと繋げる活動を進めるため、記念事業を実施している。 令和5年度から実施している東京都交響楽団とのスペシャルコンサートは、豊島区立芸術文化劇場を会場に、子どもから大人まで楽しめる特別な弦楽アンサンブルのコンサート。日本を代表する東京都交響楽団のメンバーが、豊潤な音色で定番のクラシック音楽から話題のJ-POP、アニソンまで演奏する。 ◎参加人数 (入場者数) <table><tr><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>1,000人</td><td>1,029人</td><td>655人</td></tr></table>	R5	R6	R7	1,000人	1,029人	655人												
R5	R6	R7																	
1,000人	1,029人	655人																	
としま文化の日 としまっ子フェス 〔Jimokids 豊島区〕	としま文化の日期间中に、豊島区内の施設を使い開催する、子ども向けワークショップイベント。地域の企業・団体やアーティストが中心となり、ものづくりやアート、プログラミング、防災ゲームなど、多様な体験プログラムを展開。子どもたちが遊びを通じてひらめき、創造力を育むことを目指し、親子で楽しめる機会を創出。 ◎参加人数 (入場者数) <table><tr><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td></td><td>1,020人</td><td>901人</td></tr></table>	R5	R6	R7		1,020人	901人												
R5	R6	R7																	
	1,020人	901人																	

出典:文化企画課・文化事業課作成資料

3. 学習活動の支援を通じた生涯学習の推進

1. 地域文化創造館の施設利用率

令和3年度は令和3年4月1日～24日までは夜間貸出21時まで、4月25日から5月31日まで貸出中止、6月1日から9月30日までは夜間貸出を20時までとした。南大塚地域文化創造館を除く4館は、8月1日～11月30日までワクチン接種会場となった。令和4年度以降は、感染症対策による貸し出し中止はなかった。南大塚地域文化創造館は、令和5年9月から令和6年11月まで、大規模改修工事により休館しているため、利用率は令和6年12月から令和7年3月の値で算出している。千早地域文化創造館は、令和6年11月より大規模改修工事により令和9年3月（予定）まで休館しているため、利用率は令和6年4月から11月の値で算出している。



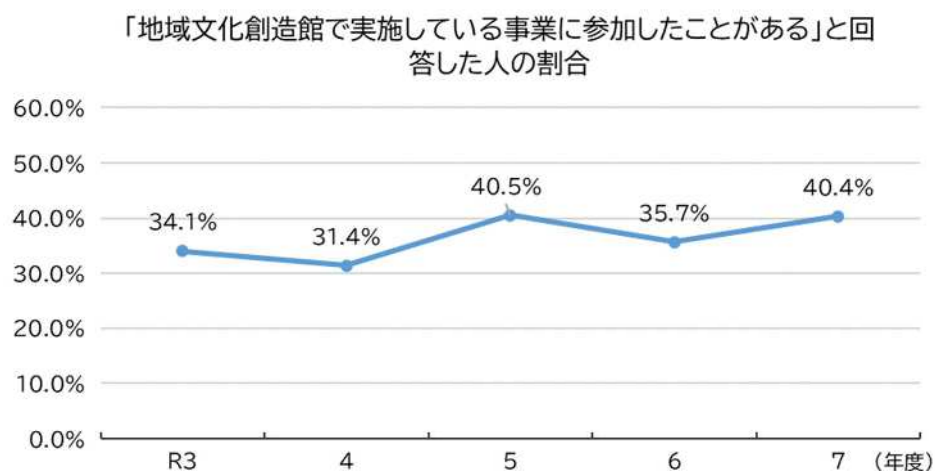
2. 地域文化創造館利用団体登録数（一般団体を除く）

令和6年4月1日付の要綱改正により、一般団体を除く利用団体の再登録（更新）を3年から5年ごとに延長した。（次回は令和8年度末を予定。）令和7年4月1日付の要綱改正により、文化創造団体の登録区分を廃止。令和3年度末の更新時は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和4年度以降の登録数が減少したが、休止していた団体も戻りつつあり、令和6年度は近隣の集会施設の休止もあり、前年度を上回る登録数となった。



3. 地域文化創造館で実施している事業への参加状況

地域文化創造館では、年間を通じて多岐にわたるジャンルの区民向け生涯学習講座（文化カレッジ）などを実施している。この講座をきっかけに、サークル活動につながることもあり、学びの入り口となっている。

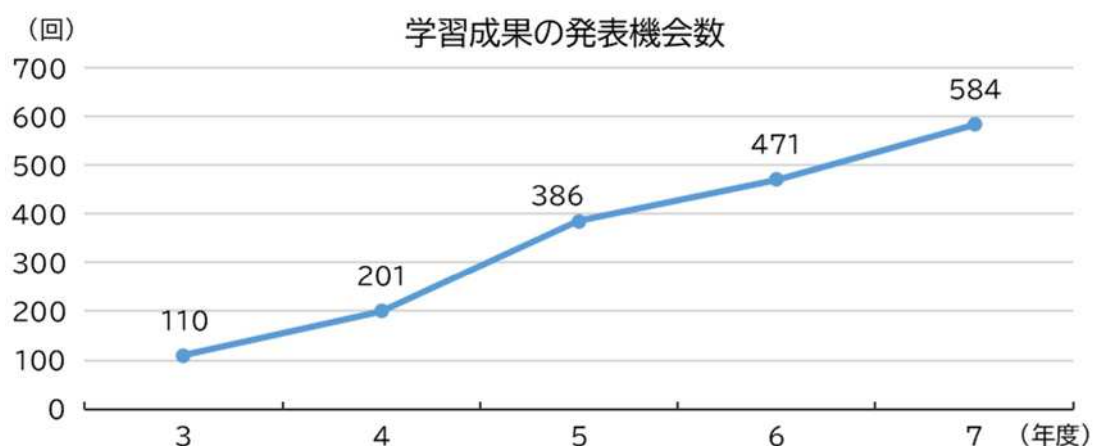


出典：地域文化創造館 利用者満足度調査

基本計画(2025-2029)の施策の効果を表す代表的な指標	現状値(2025年度)	目標値(2029年度)
「地域文化創造館で実施している事業に参加したことがある」と回答した人の割合【%】	40.4	43.5

4. 学習成果の発表機会数

学習の成果として、生涯学習関連施設での文化祭や発表会への参加や展示、講座での講師や学習支援者として、活動は、学びの成果を地域に還元できることや学習活動をしている人と人、人と活動、活動と活動がつながる機会となっている。新型コロナウイルス感染症による学習活動の中止で、発表の機会が一時減少していたが、回復傾向にある。



出典：図書館課、生涯学習・スポーツ課、公益財団法人として
未来文化財団作成事業報告書などによる資料

基本計画(2025-2029)の施策の効果を表す代表的な指標	現状値(2025年度)	目標値(2029年度)
学習成果の発表機会数【回】	584	535

4. 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち

5. としまコミュニティ大学

区内大学との包括協定により、各大学の特色を活かした講座が提供され「誰でも、いつからでも学べる」環境が作られている。また、登録して学ぶしくみ（マナビト1年生・2年生・研究生）により、幅広い年代がライフスタイルに合わせて学ぶ「継続的な学びの場」が醸成されている。

学習ネットワーク構築の支援により、学びを通じた仲間づくり・地域づくりが進んでいる。



出典:生涯学習・スポーツ課作成資料
「としまコミュニティ大学講座プログラム開催実績表」

【としまコミュニティ大学とは】

平成 19 年「豊島区と区内大学(学習院・女子栄養・大正・帝京平成・東京音楽・立教)との連携・協働に関する包括協定」により開講し、平成 28 年度から川村学園女子大学も加わった。

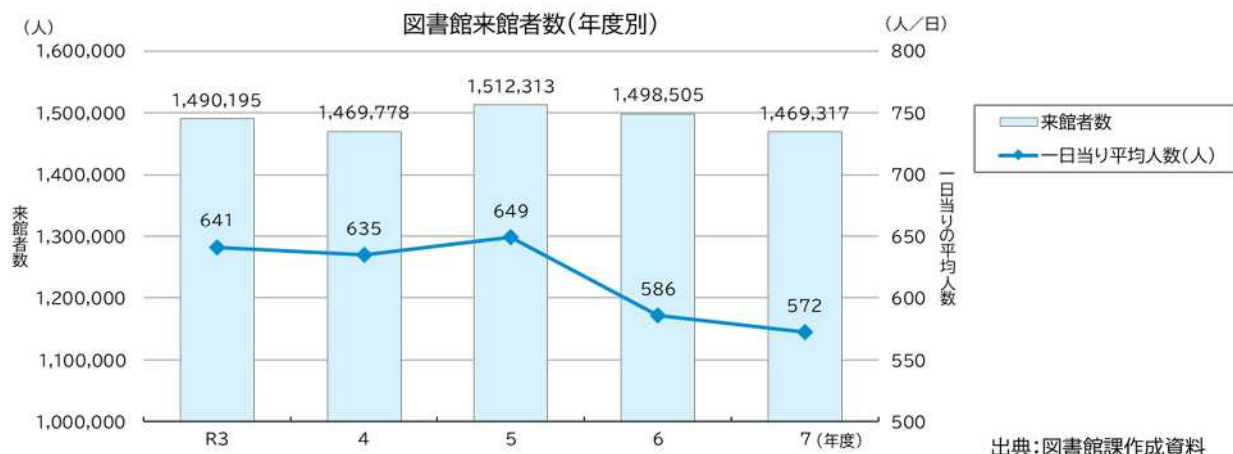
としまの街全体をキャンパスに見立て、各大学提供の講座をカリキュラム編成し、年間プログラムで実施している。(学校教育法等で定める正規の大学ではない)

学びを通じて人と人がつながり、活動へとつながり、いきいきとした地域づくりにつながる「学びの循環(わ)」の中で、様々なタイプの地域(街・社会)文化の担い手づくりを目指す総合的な学びの場である。

4. 多様な役割を持つ新たな図書館の実現

1. 図書館来館者数の推移

上池袋図書館休館に伴い来館者数の減少がみられる（臨時窓口にはゲートが設置できないため、臨時窓口の来館者数は集計不可）。



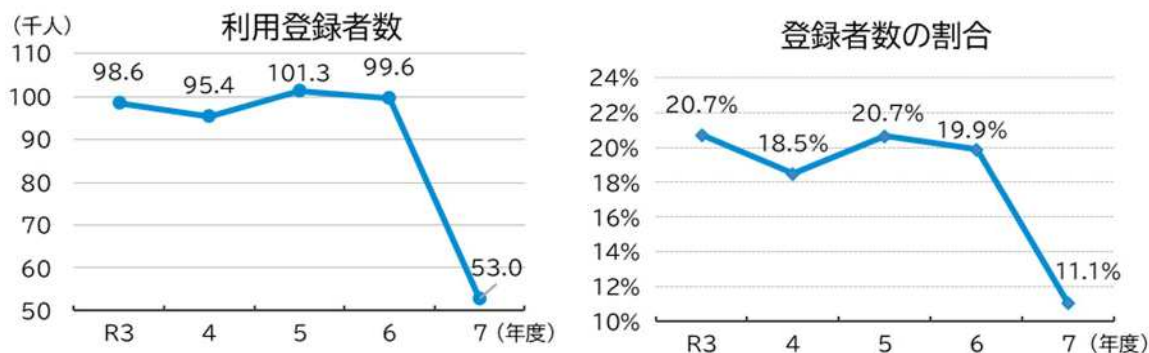
基本計画(2025-2029)の施策の効果を表す代表的な指標	現状値(2025年度)	目標値(2029年度)
図書館来館者数【人】	1,469,317	2,000,000

2. 利用登録者数と割合の推移

令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響により、図書館利用者カードの新規登録者数や更新件数が減少していたが、5年度から増加に転じた。

6年度から減少に転じたのは上池袋図書館が改築のため閉館している影響が考えられる。

7年度に著しく減少している理由は、利用カードの有効期限を1年間から区内在住者は5年、区外登録者は2年にそれぞれ延長したことにより、有効期限切れ後ひと月で利用停止となるよう運用を変更したため。



$$\frac{\text{豊島区在住の登録者数}}{\text{住民基本台帳人口(1月1日現在)}} \times 100$$

出典:図書館課作成資料

4. 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち

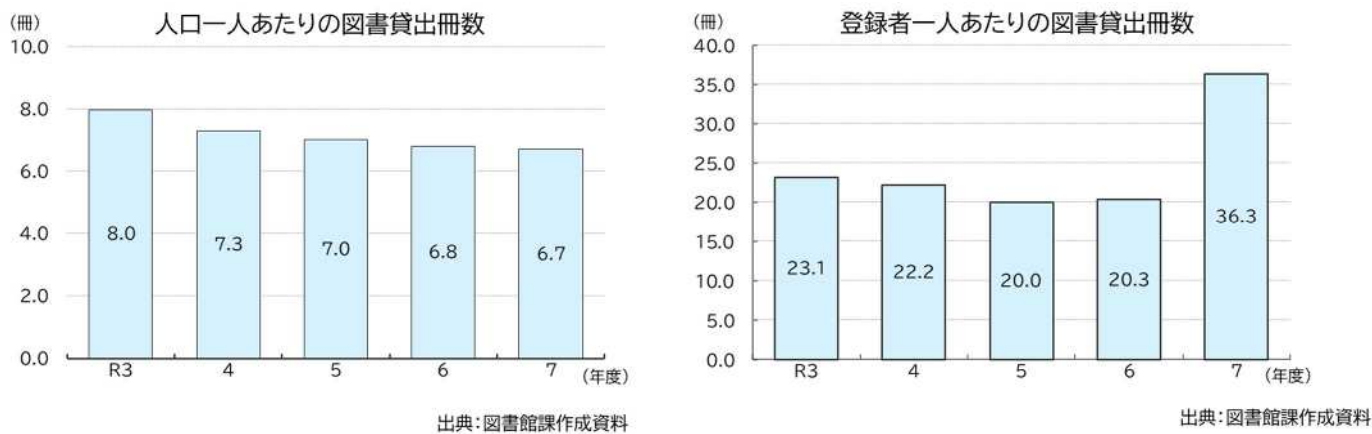
3. 図書貸出冊数の推移

令和4年度は人口一人あたり、登録者一人あたりの図書貸出冊数が減少している。それにもとない、全体の貸出冊数も減少している。

令和6年度は上池袋図書館が改築により休館しているため貸出冊数に影響が出ている。

令和7年度1年間は上池袋図書館が休館していたため、貸出冊数も大幅に減少した。

休館にもかかわらず上池袋の貸出冊数に数値が入っているのは、清掃事務所内に上池袋図書館臨時窓口を設置していたため。

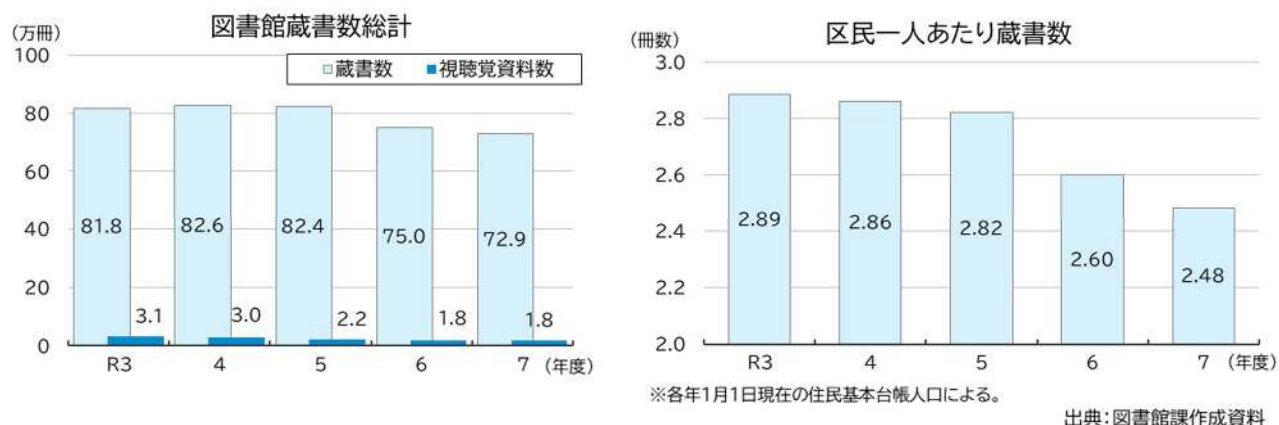


脚注
・令和7年2月～令和8年6月5日 上池袋図書館改修工事

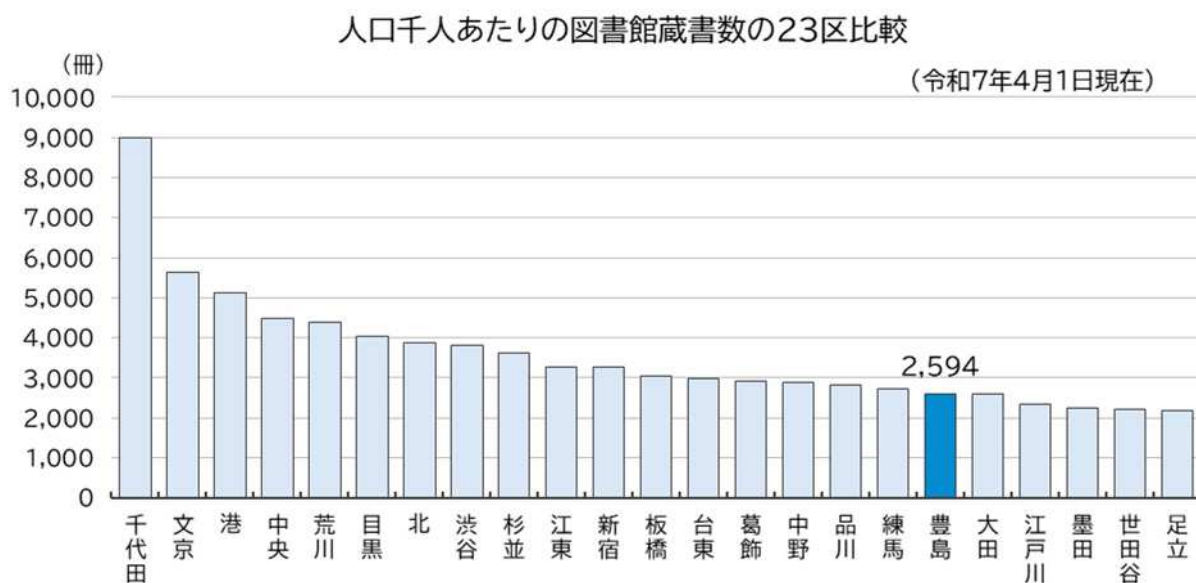
基本計画(2025-2029)の施策の効果を表す代表的な指標	現状値(2025年度)	目標値(2029年度)
図書貸出件数【冊】	1,962,610	2,300,000

4. 図書館蔵書数・区民一人あたり蔵書数の推移

図書館の蔵書総数は上池袋図書館が改築に入り、蔵書を減らしたため、大きく減っている。



5. 人口千人あたりの図書館蔵書数の23区比較

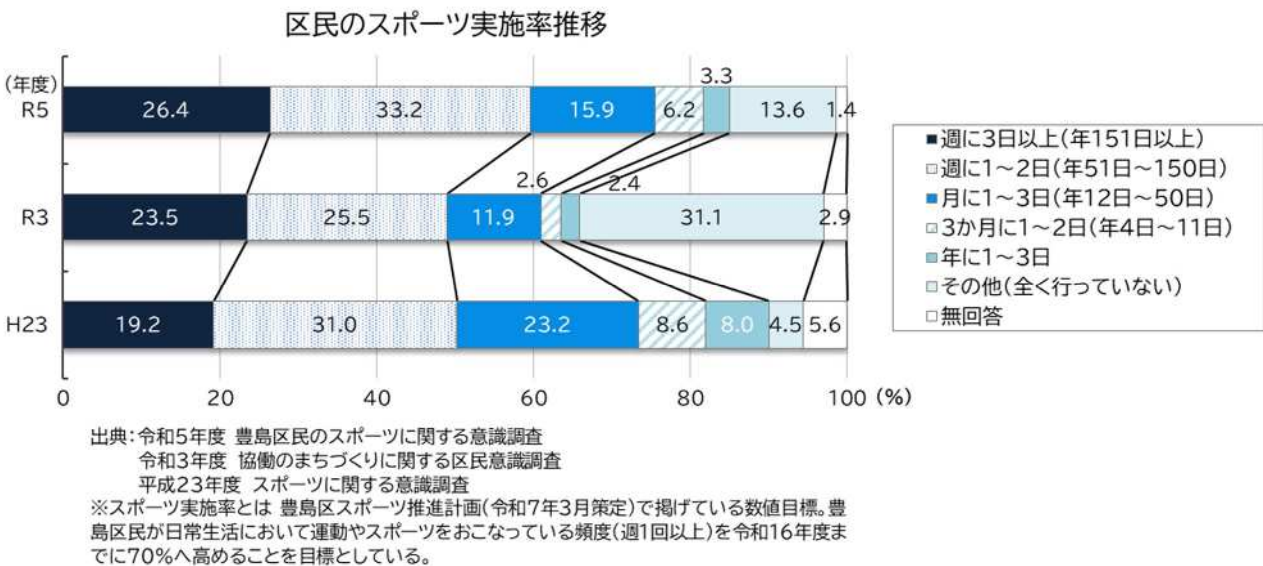


出典：【人口】R8年1月1日現在 住民基本台帳より
【蔵書数】特別区の統計 令和7年版(特別区協議会)より

5. 生涯を通じたスポーツ活動の推進

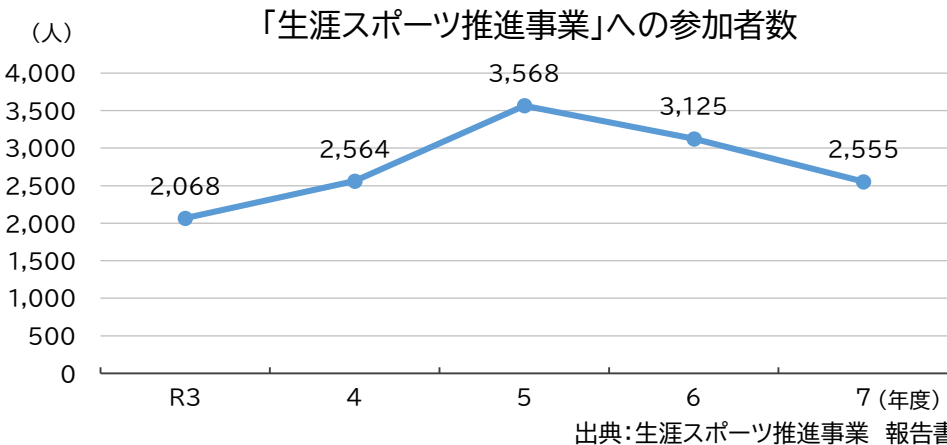
1. 区民のスポーツ実施率

平成23年度の調査では、週に1～2日以上運動する人の割合が約5割となっている。10年後となる令和3年度の調査でも、週に1～2日以上運動する人の割合は約5割と同水準であったが、令和5年度に実施した調査では59.6%と6割に迫る数値となっており、区民のスポーツ実施頻度の向上傾向が継続して見られる結果となっている。



2. 生涯スポーツ推進事業への参加者数

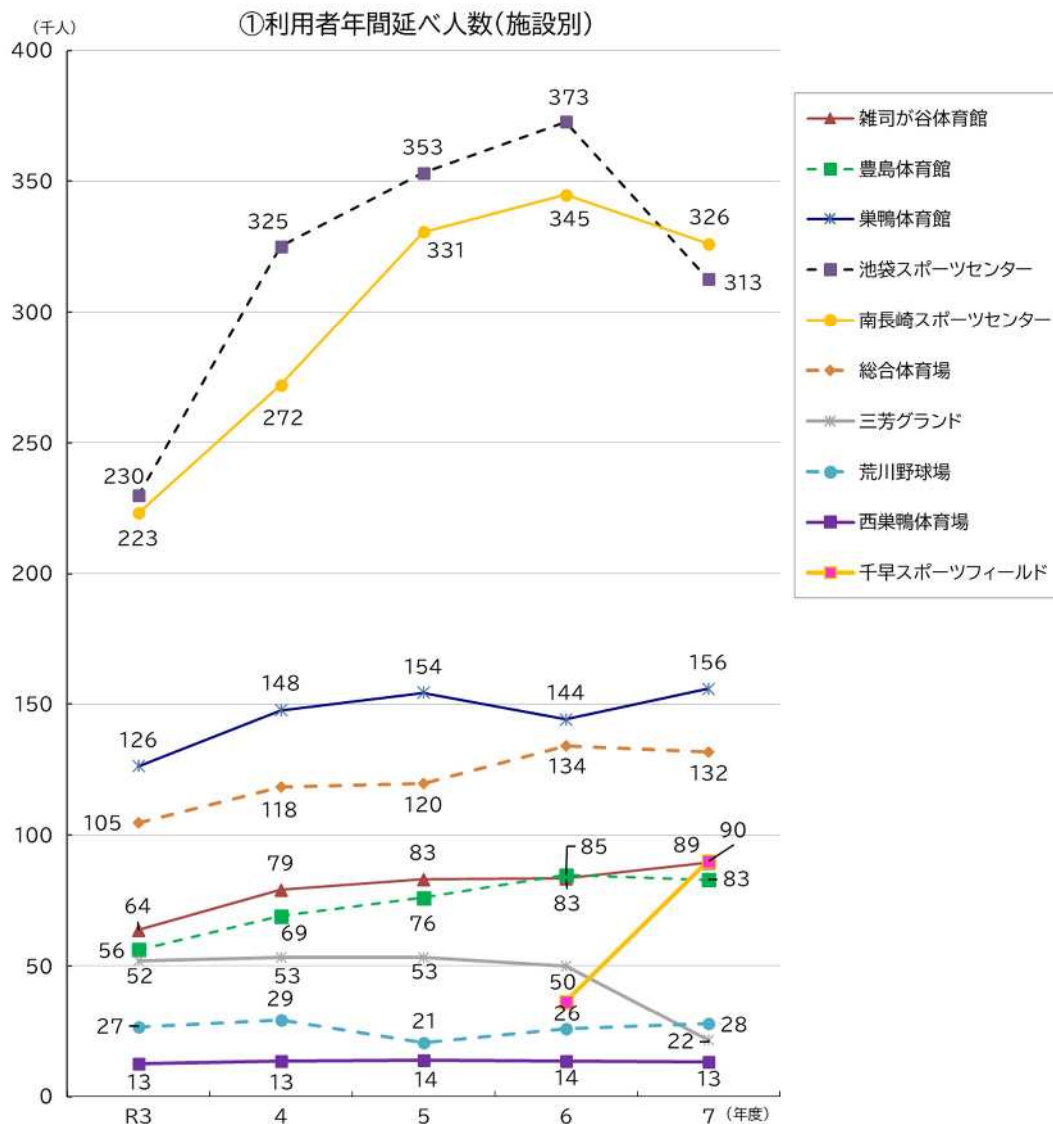
「いつでも、どこでも、いつまでも」できるスポーツの推進として、生涯スポーツに取り組む事で、子どもたちの育成、成人・高齢者の健康増進等を目的としている。各種スポーツ教室、親子スポーツ教室、スポーツリーダー講習、シニア向けの講習など誰もが生涯を通じて気軽にスポーツに親しむことができる環境を創出している。



基本計画(2025-2029)の施策の効果を表す代表的な指標	現状値(2025年度)	目標値(2029年度)
「生涯スポーツ推進事業」への参加者数【人】	2,555	5,250

3. スポーツ施設の利用状況

スポーツ施設の利用者数は、平成 28 年度以降増加傾向にある。ただし、令和元年度以降は新型コロナウイルス感染予防対策に伴う臨時休館および利用制限の影響で減少している。なお、令和 3 年度以降は前年度と比較して回復傾向にあるが、令和 7 年度は、三芳グラウンドの平日休場と池袋スポーツセンタープールの改修工事の影響により、前年度比で約 38,000 人減少した。



②利用者年間延べ人数(利用区分別)

(単位:人)

利用区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
団体	244,115	296,483	342,574	396,951	421,118
個人	380,775	480,769	564,693	577,964	527,476
一般	287,057	361,350	429,183	429,060	404,488
小・中学生	26,686	33,903	37,143	30,481	12,422
減額	45,736	57,743	69,342	74,773	63,220
免除(小・中)				9,289	13,764
免除(高校生)				4,097	6,829
免除	21,296	27,773	29,025	30,264	26,753
自主事業	270,209	330,363	297,534	315,029	303,036
全施設合計	895,099	1,107,615	1,204,801	1,289,944	1,251,630

出典:生涯学習・スポーツ課作成資料(指定管理者の報告に基づく「体育施設利用状況」より)